

# 2020年1～6月 新聞接触状況レポート Vol.4

J-MONITOR定期面別調査結果より

2020年7月22日  
J-MONITOR連絡協議会

# J-MONITOR 定期面別調査とは・・・

各紙の購読者モニターパネルに対して、定期的に朝刊・夕刊・別刷り**各面の接触状況**を質問する調査です。

調査日・調査対象面は、プラットフォームを運営するビデオリサーチが独自に設定。参加新聞社に対し、事前に調査日の開示を行わないため、より**客観的なデータ蓄積が期待できるデータ**となっています。

## 設問方法

### ◆スクリーニング

- 1.調査対象発行日の朝刊を読んだかどうか（夕刊・別刷りも同様に）
- 2.朝刊を手もとに用意できたかどうか（夕刊・別刷りも同様に）

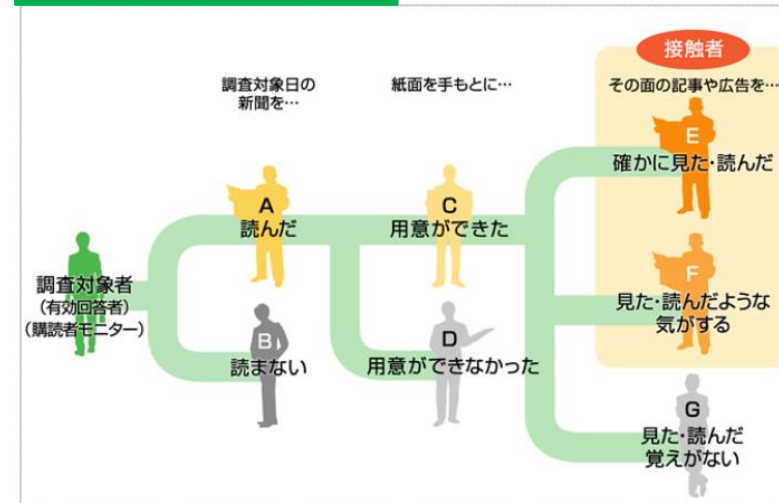
### ◆本調査（新聞を用意できた人に対して）

Q.「あなたは○面をご覧になりましたか。」（ひとつ回答）

A.

- 1.確かに見た、読んだ
- 2.見た、読んだような気がする
- 3.見た、読んだ覚えがない

### 面別接触率の設問方法



### 面別接触率の計算式

$$\text{面別接触率} = \frac{\text{確かに見た・読んだ} + \text{見た・読んだような気がする}}{\text{調査対象者 (有効回答者) (購読者モニター)}} \times 100 (\%)$$

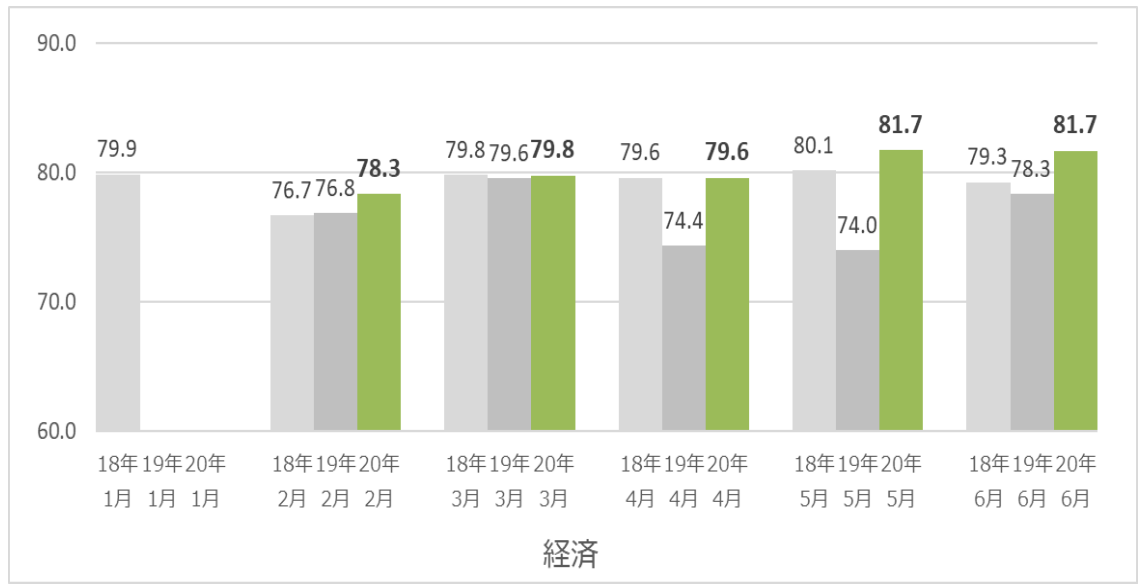
# ◆ 面別接触率比較 ①「経済面」

## ①「経済面」・・・ 新型コロナウイルスによって日々変化する日本経済の動向について掲載

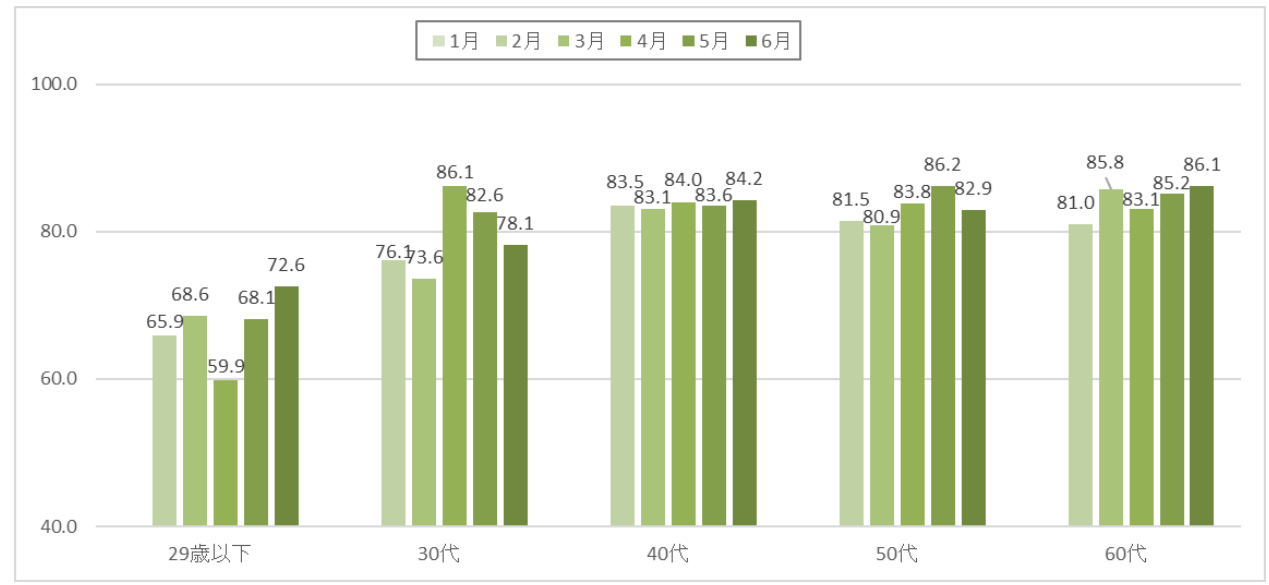
2020年6月のスコアは、5月から横ばいの結果となった。また2020年6月は、昨年同月のスコアに比べ、面別接触率が+3ポイント上昇した。新型コロナウイルスによって、日本経済は大きな打撃を受けながらも、6月には緊急事態宣言が解除され、世の中の経済活動が徐々に動き始め、引き続き経済動向に注目が集まっている。

年齢別に見ると、29歳以下、40代、60代で5月よりも面別接触率が伸びた。特に29歳以下で7割を超え、直近6ヵ月の中で最も接触率が高くなった。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



面別接触率：年代別×2020年1月～6月



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）  
 ※2019年及び2020年1月は該当紙面1件以下の為、非掲載

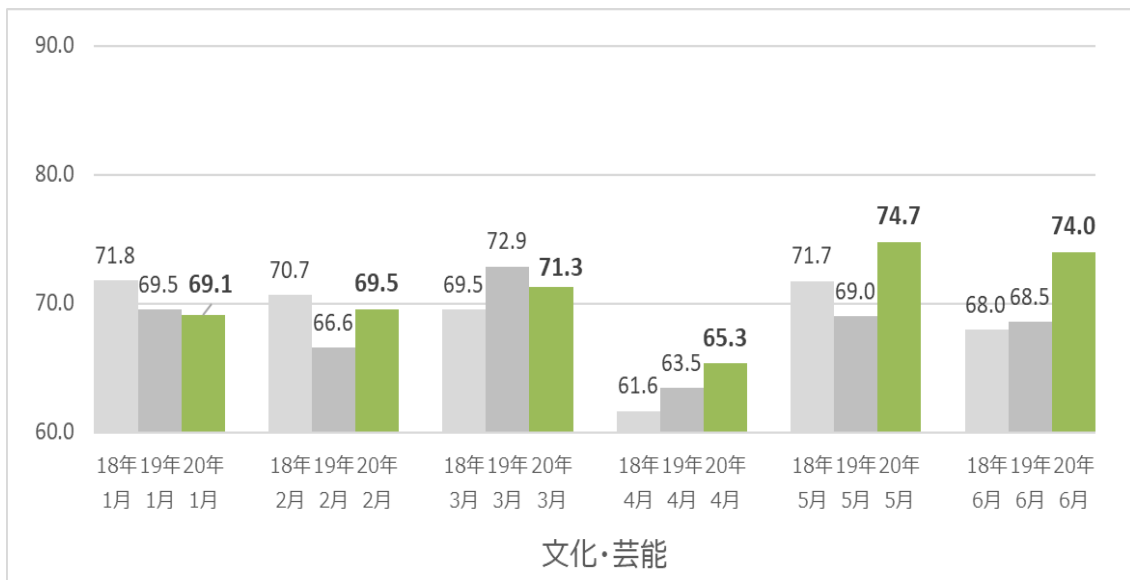
# ◆ 面別接触率比較 ②「文化・芸能面」

②「文化・芸能面」・・・ 新型コロナウイルスによって遅延していたエンタメや最新の芸能情報などを掲載

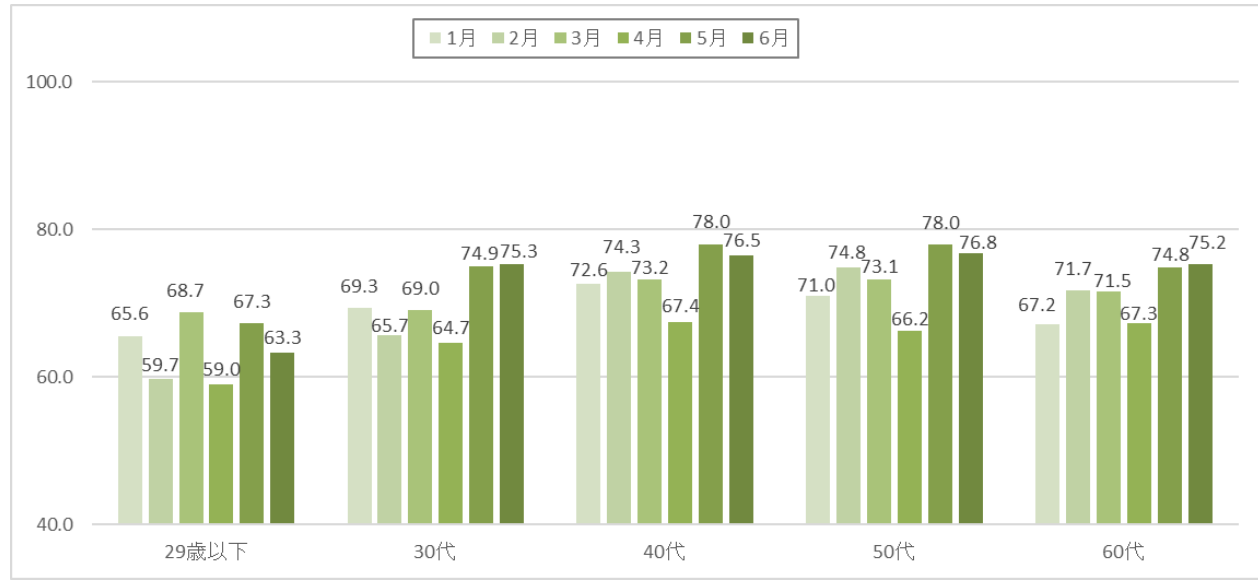
6月の「文化・芸能面」は、昨年から+5ポイント以上伸ばして7割を超える結果となった。4月の緊急事態宣言を受けて様々なエンタメが中止となり面別接触率が一旦は下がるものの、芸能界をはじめとしたステイホーム期間中の取り組みなどが記事に取り上げられることで接触率が高まり、その後の活動再開についても引き続き注目を集めているといえる。

年代別でみると、30代以上で75.0%を上回り、30代・60代では、直近6ヵ月の中で最も高い接触率となった。気晴らしや娯楽情報としても新聞を活用している人がいることがわかる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



面別接触率：年代別×2020年1月～6月



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

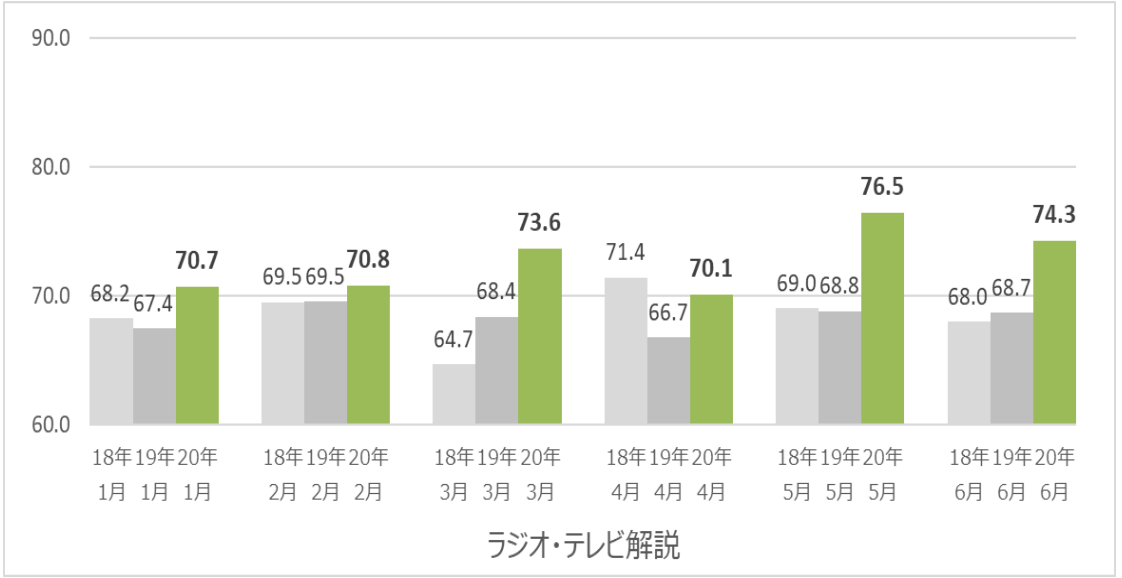
# ◆ 面別接触率比較 ③「ラジオ・テレビ解説面」

③「ラジオ・テレビ解説面」・・・ ラジオ番組や通常の編成に戻つつあるテレビ番組情報の情報などを掲載

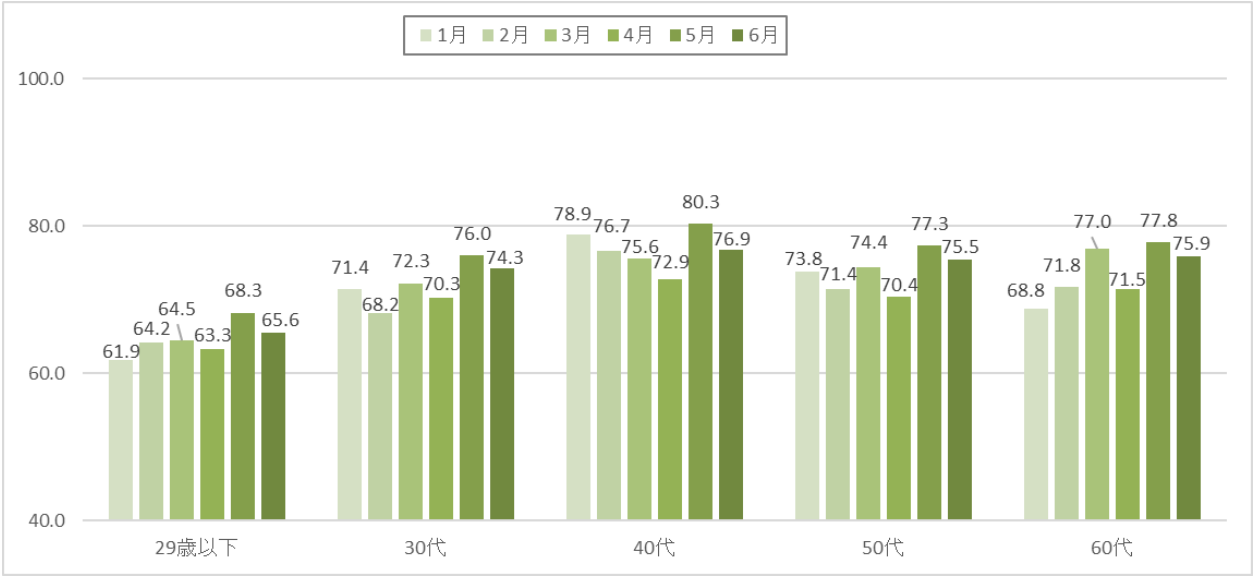
「ラジオ・テレビ解説面」は、2020年5月からはやや下がるものの、6ヶ月連続で7割を超え、6ヵ月の中で2番目に高いスコアとなった。緊急事態宣言によって在宅時間が増えたことによりテレビやラジオの接触時間が増え、緊急事態宣言解除後もその流れは続いていると考えられる。

年代別で見ると、30代以上の面別接触率は7割を超える結果となった。また29歳以下についても、5月に次いで面別接触率が高く、各年代がラジオやテレビ番組情報を新聞から収集している状況がうかがえる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



面別接触率：年代別×2020年1月～6月



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

# ◆ 面別接触率比較 エリア別：「全紙平均」

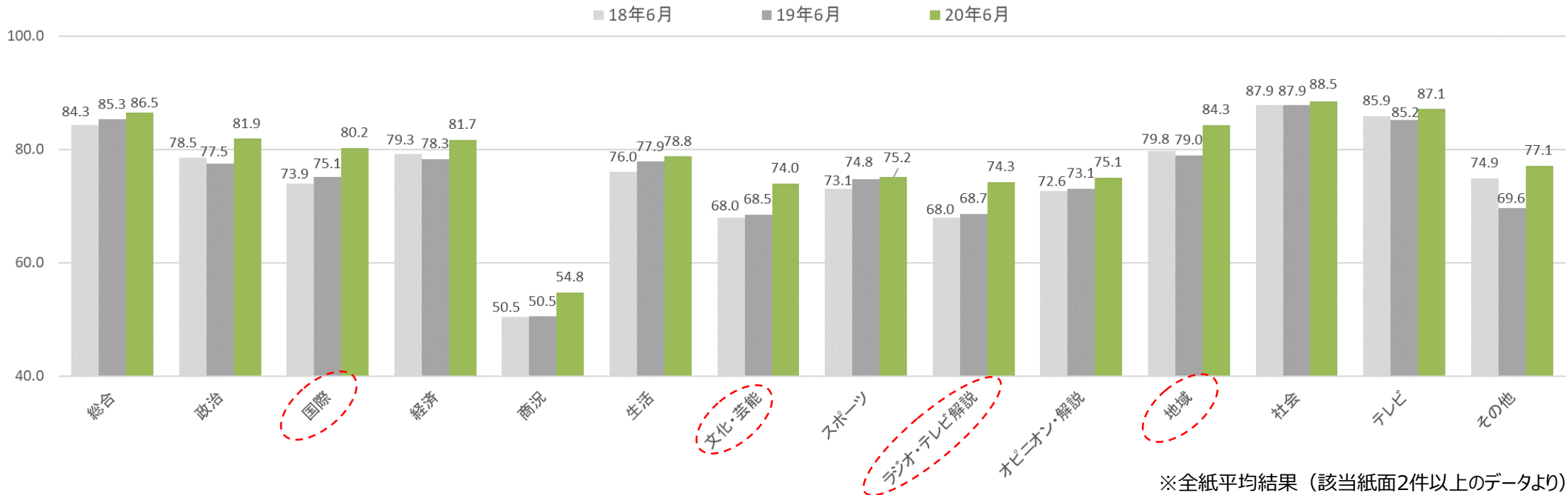
## 2020年6月 全紙 面別接触率平均

6月の面別接触率は14面種すべてにおいて、直近3年の同時期の中で最も高いスコアを獲得。

その中でも、「国際面」、「文化・芸能面」、「ラジオ・テレビ解説面」、「地域面」の面別接触率→は昨年よりも+5ポイント以上スコアが伸びている。

日本よりも新型コロナウイルスの影響が大きい海外情勢については、継続して注目されていることがわかる。また緊急事態宣言によって在宅時間が増えテレビ視聴の時間が伸びたとされるが、緊急事態宣言後の6月においても、新聞紙面から、テレビ番組やエンタメ系の情報についても引き続き収集されていることがうかがえる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※全紙平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

# ◆ 面別接触率比較 エリア別：「首都圏平均」

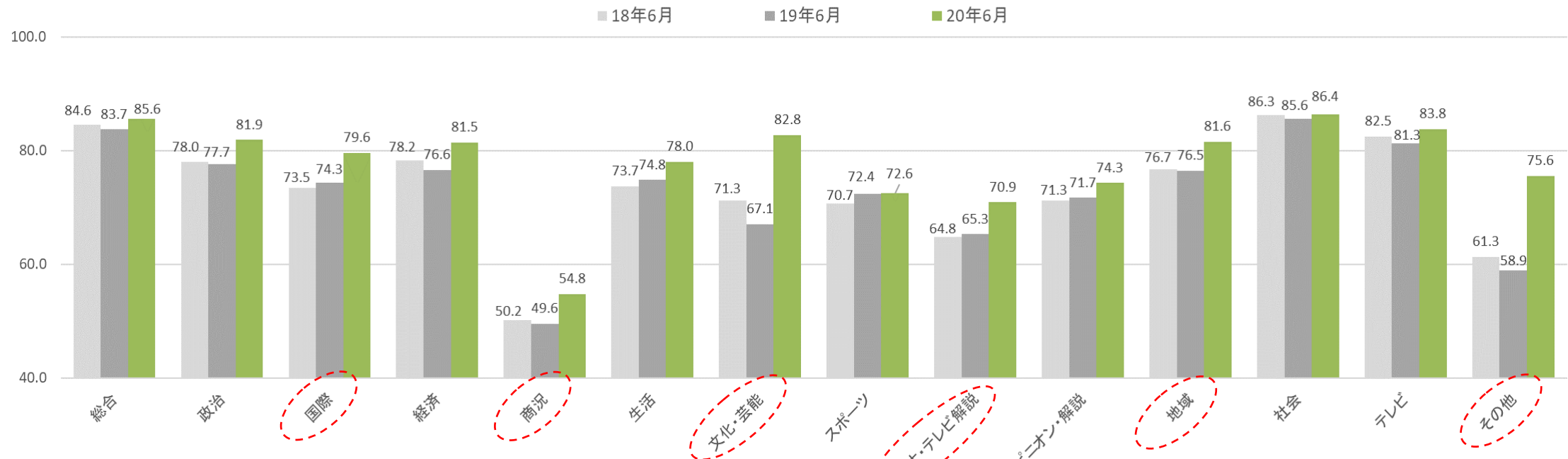
## 2020年6月 首都圏 面別接触率平均

14面種すべてが昨年、一昨年の面別接触率を上回る。特に、「文化・芸能面」、「その他」では昨年より+15ポイント以上、「国際面」、「商況」、「ラジオ・テレビ解説面」、「地域面」では+5ポイント以上昨年のスコアを上回る結果となった。

全国の中でも感染者が多い首都圏では、緊急事態宣言が解除されるも経済への打撃は大きく、引き続き各社の取引状況による景気の動きにも注目がされている。

また、新型コロナウイルス関連記事が掲載されていた面が含まれていたこともあり、例年に比べ「その他」の面別接触率も大幅にスコアが伸びている。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※首都圏平均結果（該当紙面2件以上のデータより）

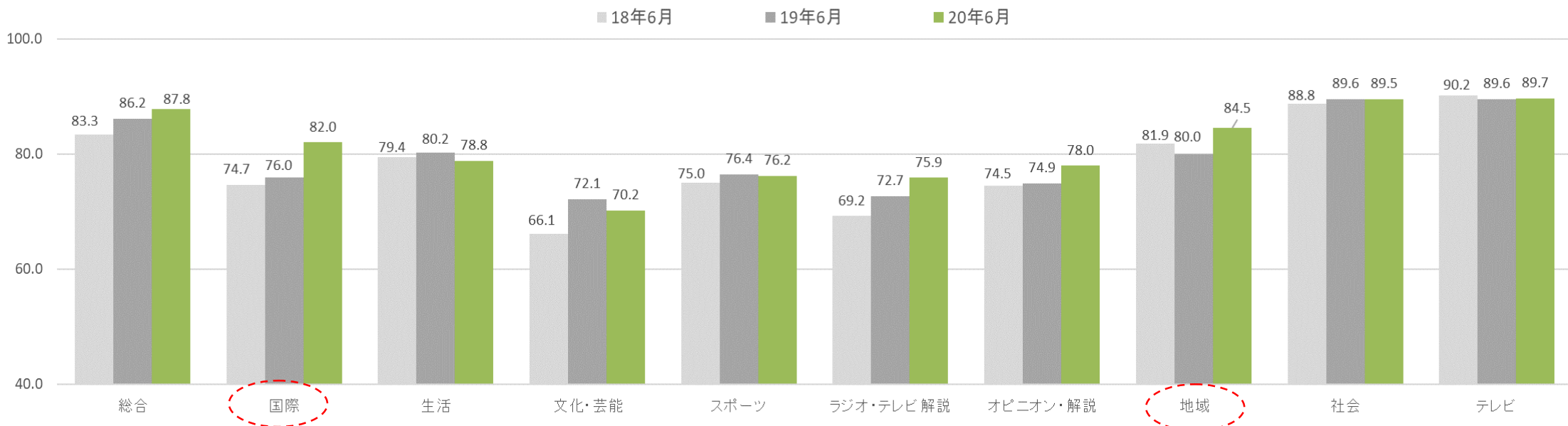
# ◆ 面別接触率比較 エリア別：「関西圏平均」

## 2020年6月 関西圏 面別接触率平均

「総合面」、「国際面」、「ラジオ・テレビ解説面」、「オピニオン・解説面」、「地域面」で昨年、一昨年のスコアを上回る。  
「国際面」、「地域面」の面別接触率は昨年のスコアに比べ+5ポイント近く上回る結果となった。

感染拡大が落ち着いている関西圏では、首都圏よりも早く経済活動を再開させており、地域面から地元のエリアでの経済活動に注目を寄せていることがうかがえる。その中でも第2波に対する対策や、どのような形で新型コロナウイルスと戦っていくのかを、「国際面」や「オピニオン・解説面」等から情報収集していると考えられる。

面別接触率：過去同時期との比較スコア



※関西圏平均結果（該当紙面2件以上のデータより）  
 ※3カ年比較可能な面のみを掲載



# ◆ 面別接触率まとめ (2020年1月～6月)

## ◆ 考察

- ①6月は、5月と比べると面別接触率はやや落ち着くものの、新型コロナウイルスの流行が最も拡大した3～4月と同程度のスコアを全体的に維持。
- ②6月は、全14ある面種のうち、総合、政治、国際、経済、地域、社会、テレビの6面種が8割超え。
- ③生活、文化・芸能、スポーツ、ラジオ・テレビ解説、オピニオン・解説、その他の6面種も7割超え。
- ④男性は政治、国際、経済、スポーツの接触が高く、女性は生活の接触が高い。

⇒各面種が5月の接触率をやや下回ったが、新型コロナウイルスの感染が最も広がった3～4月の接触率と変わらず、継続的に新聞へ接触していることがわかる。また経済面は5月から横ばいとなり、緊急事態宣言が全面的に解除され経済社会活動が徐々に再開されたものの、コロナウイルスによって受けた日本経済への影響は大きく、引き続き国内における経済状況については注目が集まっていると考える。

面別接触率 一覧 (単位：%)

【全体】

朝刊・面名称	2020年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総合	86.4	86.0	87.6	88.5	90.5	86.5
政治	-	79.3	81.6	85.0	83.7	81.9
国際	79.3	76.2	81.2	81.7	83.8	80.2
経済	-	78.3	79.8	79.6	81.7	81.7
商況	-	51.3	53.1	-	56.8	54.8
生活	71.9	78.0	78.6	80.2	82.9	78.8
文化・芸能	69.1	69.5	71.3	65.3	74.7	74.0
スポーツ	80.3	72.7	78.4	76.5	79.2	75.2
ラジオ・テレビ解説	70.7	70.8	73.6	70.1	76.5	74.3
オピニオン・解説	77.3	74.2	76.2	76.6	79.3	75.1
地域	86.6	76.8	81.7	84.3	87.4	84.3
社会	89.7	88.1	89.5	89.9	91.0	88.5
テレビ	88.2	86.3	83.0	86.0	88.1	87.1
その他	64.4	74.6	76.0	76.1	80.0	77.1

【男性】

朝刊・面名称	2020年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総合	88.7	88.7	89.8	89.9	92.7	88.8
政治	-	85.7	85.7	88.4	89.1	85.5
国際	85.1	80.3	85.1	85.6	88.3	83.4
経済	-	82.0	84.1	84.7	85.7	84.4
商況	-	56.8	59.2	-	61.9	61.2
生活	69.8	75.6	74.9	77.9	79.6	76.2
文化・芸能	69.8	68.2	70.5	66.2	75.7	73.9
スポーツ	84.3	78.2	83.9	81.1	83.5	80.9
ラジオ・テレビ解説	69.0	71.6	72.8	69.5	73.8	74.7
オピニオン・解説	77.0	75.6	77.0	76.1	79.4	75.5
地域	88.0	78.4	81.2	84.2	88.1	84.4
社会	89.8	89.5	90.6	90.1	91.4	88.6
テレビ	87.8	87.1	83.5	85.7	87.6	86.9
その他	65.8	76.4	76.5	77.9	78.7	77.6

【女性】

朝刊・面名称	2020年					
	1月	2月	3月	4月	5月	6月
総合	84.2	83.2	85.5	87.3	88.4	84.3
政治	-	72.6	77.4	81.3	78.9	78.0
国際	73.8	71.9	77.5	78.5	79.6	77.1
経済	-	74.7	75.4	75.1	78.1	79.0
商況	-	46.1	46.9	-	52.0	48.6
生活	73.6	80.4	82.1	82.2	85.7	81.4
文化・芸能	68.5	70.7	71.9	64.5	74.0	74.2
スポーツ	76.6	67.2	73.2	72.5	75.5	69.7
ラジオ・テレビ解説	72.3	70.1	74.4	70.5	78.8	74.0
オピニオン・解説	77.5	72.8	75.3	77.0	79.3	74.7
地域	85.2	74.7	82.3	84.2	86.8	84.1
社会	89.4	86.6	88.4	89.7	90.6	88.2
テレビ	88.5	85.5	82.7	86.2	88.5	87.4
その他	63.0	72.6	75.6	74.5	81.2	76.5

# 「定期面別接触率調査」 調査紙と調査実施月について

		18年 1月	18年 2月	18年 3月	18年 4月	18年 5月	18年 6月	19年 1月	19年 2月	19年 3月	19年 4月	19年 5月	19年 6月	20年 1月	20年 2月	20年 3月	20年 4月	20年 5月	20年 6月
首都圏	朝日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	産経新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	日本経済新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	毎日新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	読売新聞（首都圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	東京新聞（首都圏）	●		●	●				●		●	●			●	●			●
近畿圏	朝日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	産経新聞（近畿圏）		●		●			●			●					●		●	
	毎日新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	読売新聞（近畿圏）	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
その他	中日新聞（中京圏）	●		●		●				●	●	●		●	●				●
	北海道新聞	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
	神戸新聞										●								●
	中国新聞											●							
	西日本新聞	●				●			●		●								

全紙15紙

# 本データ使用時の注意点

本データをご使用の場合は、下記「データ出典」を必ず明記いただきますよう、お願いいたします。

データ出典：

J-MONITOR調査 定期面別調査 【調査実施機関】ビデオリサーチ 【調査日】2018年1月～2020年6月

## J-MONITOR オフィシャルサイト

<https://www.j-monitor.net/data-plate/>

※7月22日より、オフィシャルサイトに掲出されています。

## 問い合わせ

J-MONITOR連絡協議会 2020年度 運営管理幹事

産経新聞社メディア営業局 企画プロデュース部兼業務推進部 橋本

問い合わせメールアドレス： [press@it.videor.co.jp](mailto:press@it.videor.co.jp)